

テーマ3

新しい生活様式における 避難と地域の強靱化

コーディネーター

藤原 章正（先進理工系科学研究科・教授）

パネリスト

繁本 憲文（広島大学トランスレーショナルリサーチセンター・准教授）

神田 佑亮（呉工業高等専門学校・教授）

神尾 博志（東広島市危機管理課・課長）

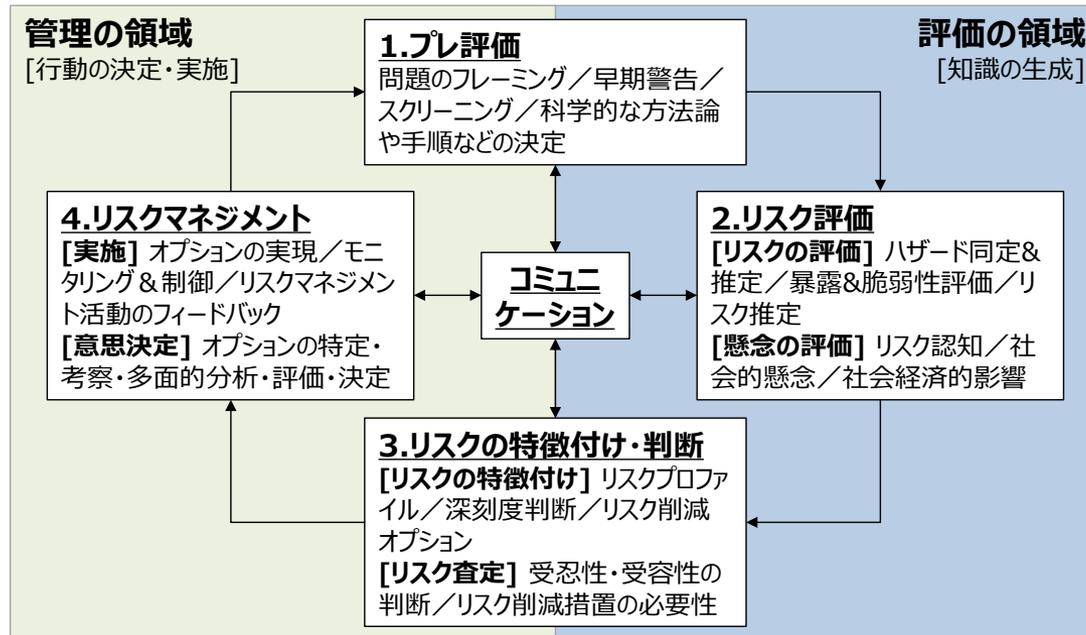
園部 貴之（中国新聞社・メディア開発室）

本日の進め方

- 15:45-15:50 テーマ3の趣旨
広島大学大学院先進理工系科学研究科・教授 ふじわら あきまさ 藤原 章正
- 15:50-16:00 避難所の感染症対策
広島大学トランスレーショナルリサーチセンター・准教授 しげもと のりふみ 繁本 憲文
- 16:00-16:10 コロナ禍のBCP
呉工業高等専門学校・教授 かんだ ゆうすけ 神田 佑亮
- 16:10-16:15 コロナ状況下での各種対応
東広島市危機管理課・課長 かみお ひろし 神尾 博志
- 16:15-16:20 分散避難や早期避難を促す取り組み
中国新聞社・メディア開発室 そのべ たかゆき 園部 貴之
- 16:20-16:45 自由討議

リスクとリスクの間のトレードオフ

- 特定のリスクを削減する努力（e.g., 避難指示）が、他のリスクを増大（e.g., 感染症）させる。



リスクガバナンス

分散避難

直近の避難施設への移動では、、、

- 三密（密閉・密集・密接）を回避できない
- 社会距離を確保できない可能性あり
- 避難施設までの道路混雑の可能性高い



COVID19感染の拡大と避難遅れのリスクが高い



参照URL：NHK特設サイト新型コロナウイルス
<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/>

感染回避（スフィア基準遵守）と無事避難、両方の条件を満たすためには、

- ① 建設により、避難施設の数をつできるだけ多くする
- ② 建設により、避難施設の収容人数をつできるだけ大きくする
- ③ 情報提供により、低密度の避難施設へと誘導する
- ④ 情報提供により、避難の経路とタイミングを分散させる
- ⑤ 情報提供により、個人にあった分散避難を適切に配分する

COVID-19下での避難施設

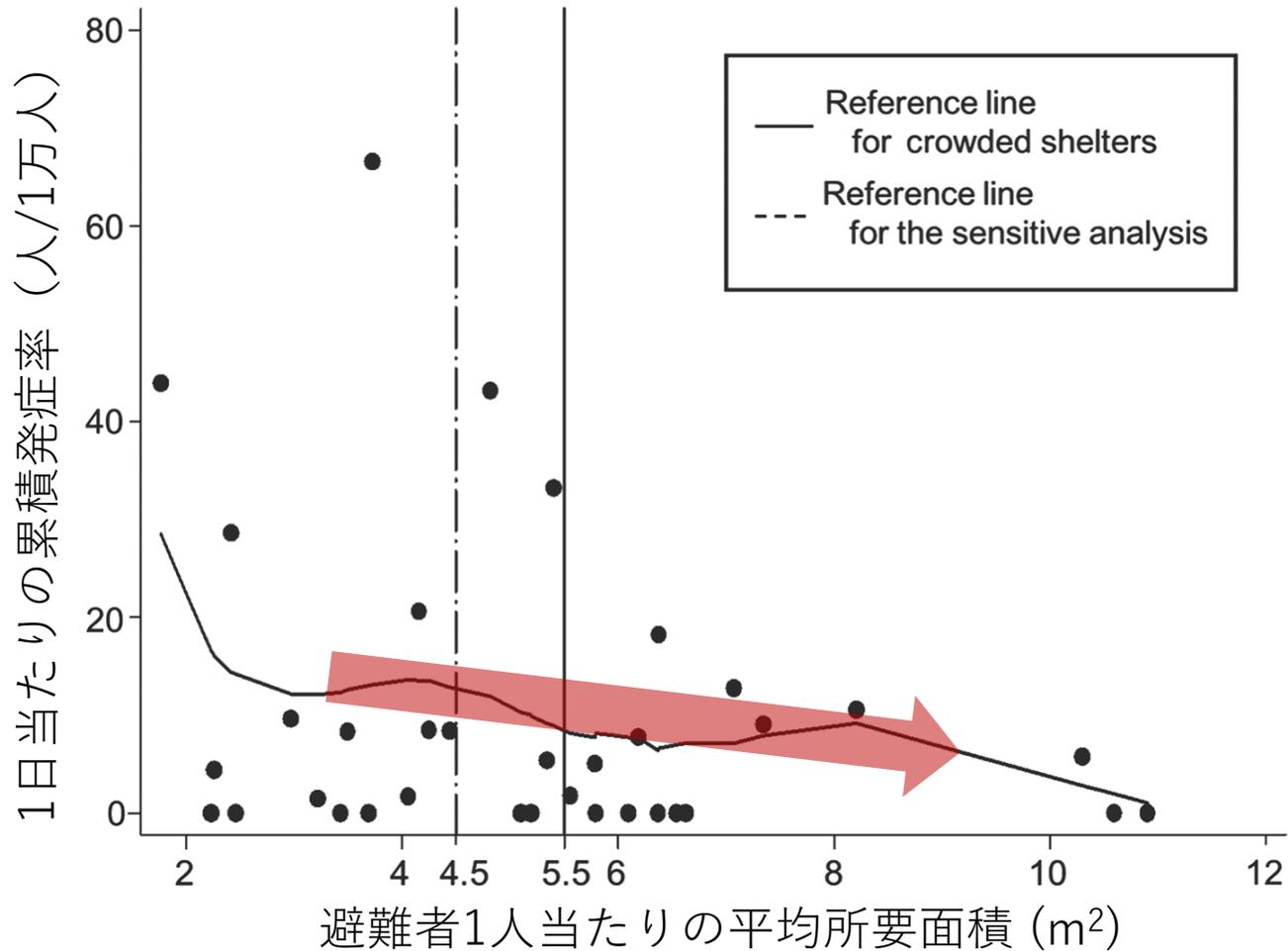


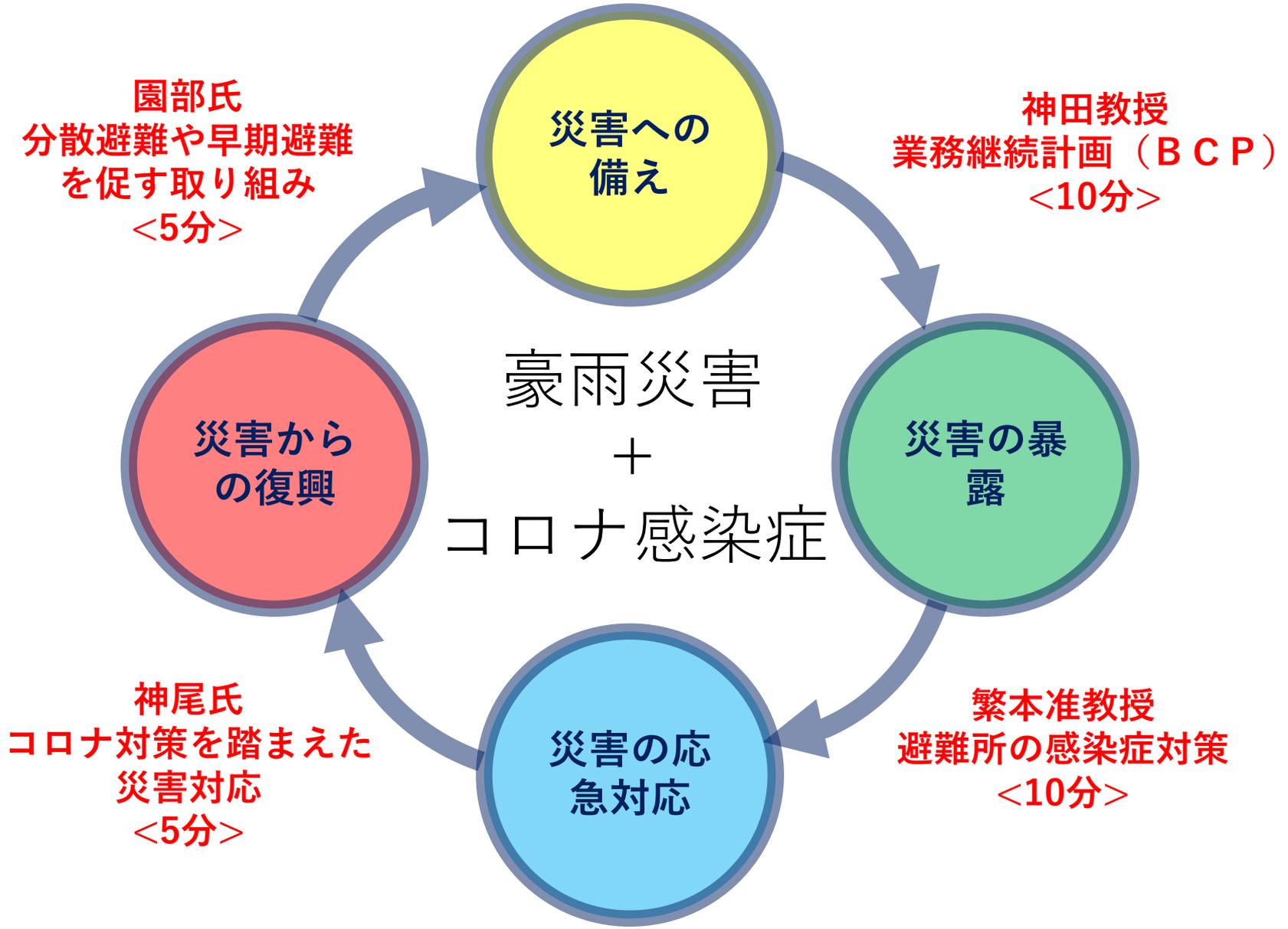
益城町総合体育館
(読売新聞 <https://www.yomiuri.co.jp/local/kumamoto/news/20200525-OYTNT50067/>)

- 密閉 : 機械換気、窓の開放 → 可
- 密集 : 人数制限 (誕生月規制) → ×
- 密接 : 社会的距離確保 1~3m → ×

https://www.koho.metro.tokyo.lg.jp/diary/news/stay_home.html

避難所面積と発症率の関係





自由討論

■ コロナ禍の避難所に求められる機能は？

- ▶ 避難所の環境改善：アクセス，生活の場
- ▶ 避難所のコロナ対策：レイアウト，新技術

■ コロナ禍でどうすれば分散避難が進むのか？

- ▶ ホテル：年に数回のお出かけ（旅行）をする気分で
- ▶ 知人宅：他都市で暮らす親戚の避難を受け入れる？

■ 社会の分断や差別に終わりは？

- ▶ 県外ボランティアお断り→熊大病院の粹な取り組み
- ▶ ワクチンが普及すればすべてが終わるわけではない

サマリーレポート：テーマ3

「新しい生活様式における避難と地域の強靱化」

自然災害と感染症リスクの複合型災害時の避難問題

- 官民で蓄積した災害対策と新たな感染症対策の組み合わせで対応できる！
- 複合型災害の経験を、ニューノーマル時代の防災・減災活動に活かそう！
- 次に来る相乗型豪雨災害の備えとして、社会のあらゆる活動にBCPを用意しよう！
- HRRCは事実と科学的根拠を揃え、正しく伝えるリスク・コミュニケーションにより、社会の不安を払う使命を果たそう！